

第70回 仏教公開講座

生きるって ということ

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時 2010年4月20日(火) 午後6時30分～8時30分

講 師 今井雅晴氏(筑波大学名誉教授)

講 題 『関東の親鸞聖人—どのような環境で、いかに教えを説いたのか—』

日 程 午後6時30分 真宗宗歌・正信偈(同朋奉讃式)
6時45分 講 義
8時15分 質問の時間
8時30分 恩徳讃・閉会



講師紹介

今井 雅晴(いまい まさはる)

筑波大学名誉教授。筑波大学教授を定年退職後、親鸞聖人・恵信尼さまの伝記や初期真宗史の研究に集中する毎日を送られている。

著書に、『恵信尼消息に学ぶ』(東本願寺出版部)、『歴史を知り、親鸞を知る① 親鸞聖人と東国に人々』(自照社出版)、『歴史を知り、親鸞を知る② 恵信尼さまってどんな方?』(自照社出版)、『親鸞と恵信尼』(自照社出版)、『親鸞の家族と門弟』(法蔵館)、『茨城と親鸞』(茨城新聞社)、など。

先生からのメッセージ

親鸞聖人は42歳の時、ご家族とともに越後から関東に向かいました。その後約20年、念仏の教えを説いて多くの門弟を得、『教行信証』をまとめました。では関東とはどのような所だったのでしょうか。また親鸞聖人はそこの人々にいかに教えを説いたのでしょうか。この講演ではそれらのことについてお話しをしたいと思います。

いつでも・どこからでも聞ける“テレホン法話”、お電話ください。TEL058-265-0033